

令和5年10月30日

報道機関 各位

～九州内の大学で2例目 生理の貧困への取組として～ 個室トイレに生理用品ディスペンサーを設置、無償提供を開始

長崎大学では、令和5年10月23日より、文教キャンパスの女性用トイレ11か所に OiTr（オイテル）機器を設置導入し、生理用品の無償提供を開始いたしました。

OiTr 機器とは、生理用ナプキンを常備し無料で提供するディスペンサーです。本学では、令和4年4月からノンポリマーナプキン BOX を女性用個室トイレ数か所に設置し、試験的に生理用品の無償提供を開始。学生の声や使用状況を分析し、この OiTr 機器の設置につながりました。

生理用品が生活必需品であることを、生理のある人ない人が共に理解することで、生きやすい世の中になり、SDGs のスローガンである「誰も置き去りにしない (leave no one behind)」につながり、また、本学の掲げるプラネタリーヘルスへの貢献にもつながると考えています。

本学では「生理の貧困」という経済的な意味だけでなく、生理に対する適切なケアや知識を含めて、生理に伴うさまざまな負担の軽減、経済格差やジェンダーギャップ等の不均衡を是正し、女子学生が安心して通えるキャンパスづくりに取り組んでいます。

OiTr 機器の設置は、長崎県内では、佐世保五番街に続き2か所目であり、九州内の大学においては、福岡女学院大学に続き2か所目となっています。

報道機関のみなさまにも是非ご関心をお持ちいただき、広く報道していただけますと幸いです。

■設置の様子



【本リリースに関するお問い合わせ先】

ダイバーシティ推進センター 内野

TEL : 095-819-2889

E-mail : omoyai_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp